事業概要【ローカル5Gと汎用画像AI技術による先進的スマートシティ地域活性化事業】

実施地域	愛媛県松山市、東温市、今治市	実施主体	株式会社愛媛CATV
事業概要	本事業を実施する地域では、ICTやIoTの活用の遅れにより、人口減少・高齢化が進む地域での資源の有効活用による活性化、人手不足の中小企業でのスマート化による生産性向上、観光拠点のしまなみ海道での安全・快適なサイクルツーリズムやインバウンド促進、商業施設での混雑状況可視化等による利用者の利便性向上などが課題となっている。その大きな要因は、ソリューションの専用性による費用対効果の低さである。これらの課題解決のため、本事業では、地域の産学官民によるスマートシティ推進組織を立ち上げ、**民間主導による、汎用性・共有性・費用対効果に優れたローカル　５Gや画像AIの先進ICT・IoT技術を用いたスマートシティプラットフォーム（FIWARE）を構築**、安全快適で持続性のある運営体制やルールを整理のうえ社会実装し、他分野・地域連携による横展開を行い、地域のにぎわい創出、生産性向上等、地域DXの推進による活性化を図る。		

取組内容

本事業は、愛媛CATVが主体的に構築、推進してきたローカル5Gをはじめとする地域無線通信基盤などを活用し、汎用性の高い画像AI情報を用いたスマートシティプラットフォーム（FIWARE）を構築することで、画像AIの高度で多様な分析機能や分析結果、制御機能を地域の様々な課題解決のために容易に利用することができる環境を構築する。クラウド上の高度な画像AI機能やスマートシティプラットフォームを分野横断や広域連携によってシェアし、末端のデバイスに汎用性を担保することで普及の詐害要因となるコスト課題を解決し、自治体をはじめ地域の民間におけるICTやIoTの利用を促進する。

事業効果として、にぎわいの創出、生産性向上等、官民による地域DX推進による活性化に資することが期待できる。

三津浜地区（松山市）

工場（東温市、松山市）

【本事業内における画像ＡＩユースケース】

・活性化推進地区（まちづくり分野）
　三津浜地区（松山市）での車の混雑分析、人流測定など
・工場DX（産業分野）
　工場（東温市、松山市）での在庫管理など
・観光施設（観光分野）
　しまなみ海道（今治市）での人流（主にサイクリスト）測定など
・商業施設（商業分野）
　レスパスシティ（東温市）における駐車場の混雑分析など

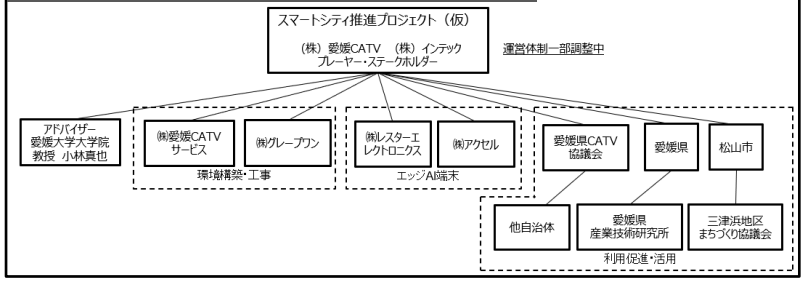
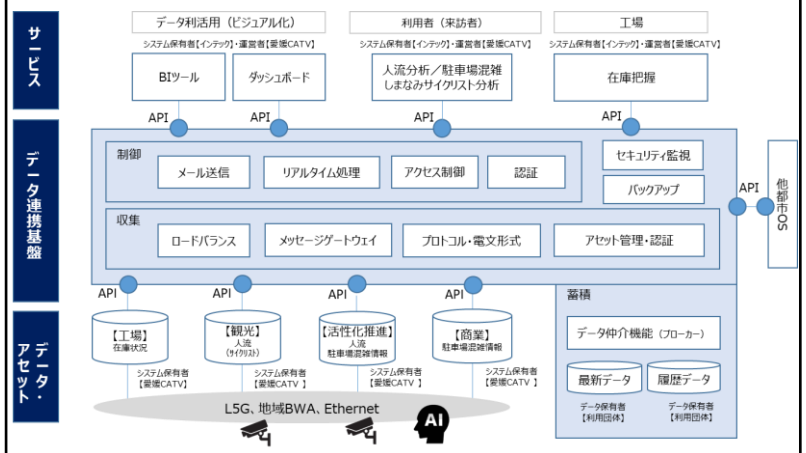
【都市OS】

・情報集約プラットフォームはクラウド上の都市OS（FIWARE）で構築し、機密性を求められる画像AIサーバーは地域閉域網内に構築
・都市OS間の連携を可能とするAPIの実装

【データ収集回線】

・ローカル5G（※）、地域BWA、Ethernet　（地域閉域網）
（※）愛媛CATVでは2021年よりローカル5Gサブスク型支援サービスをリリースしており、地域閉域網を活用し、5Gに必要な設備を高性能なままシェアリングすることで、安価な5Gの自営利用を実現している。（添付資料あり）

実施体制図



システム構成図